

事業所職員向け 児童発達支援事業 自己評価表

実施期：2023年11月末

事業所名：子ども発達支援センター フレンズあすわ

※黒字=回答時点での実施状況

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・定員数に対し、設置基準に適した利用者様一人あたりの活動スペースを確保しています。児童発達支援センターを併設しており、園庭(屋外遊具あり)も設置されています。 ・プレイルームは部屋を分割して部屋数を増やす事もでき、その都度用途に合わせた環境設定を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・令和5年11月現在、児童発達支援管理責任者1名、看護師1名、保育士6名、その他支援員3名が常勤しております。 ・勤務はシフト制ですが、各スタッフの居室スタッフが必ず出勤できるよう勤務調整を行っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・エレベーター、多目的トイレ、全フロア手すり設置など、障がい種別を問わない受入が可能な設備となっています。 ・受入れニーズの(医療的ケア児等)多様性を目指し、その都度充実したバリアフリーの為の改築も検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・利用者様降園後は、居室掃除、居室内の除菌や玩具の消毒を行っています。 ・換気はもちろん、空気清浄機を設置し感染症対策も行っております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・各クラス運営に関しては、毎月クラス会議やカンファレンスを設け、話し合いの場を設けております。 ・毎日の終礼では、当日の支援における留意点の確認、連絡事項等を行い、職員間で情報共有を行っております。また毎月スタッフミーティングを行い、業務や支援における話し合いも定期的に行っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向けアンケートを実施し、保護者の意見から改善点等を分析、把握し、改善目標を立て、取り組みを行っています。改善報告についても保護者様に提示したり、ホームページにて公表をしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者向けアンケート、事業者向けアンケートを実施し、さまざまな意見から改善点等を分析、把握し、改善目標を立て、取り組みを行っています。改善報告についても保護者様に提示したり、ホームページにて公表をしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者評価は受けていませんが、感染対策を十分に行った上で実習生を受け入れ、終了時には必ずご意見をいただき、支援や環境改善に反映させています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・多岐に渡る内容で、法人研修・事業所内研修を定期的実施しています。 ・特別支援学校への定期的な見学勉強会や様々な外部研修にも積極的に参加し、就学に向けて身に付けるべきスキルや将来に向けた個別支援計画の作成ができるよう勉強を行っています。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との面談や、日々のやり取りの中で利用者様の状況把握に努め、児童発達支援計画に反映しております。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・ふくいっ子ファイルや初級ポーターページ発達チェック表を使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・ガイドラインの「本人支援」の「健康・生活」「運動・感覚」「認知・理解」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」から優先度の高いものを2~3項目と「家族支援」「地域支援」に分けて立案しています。 ・ご家族にもガイドライン第2章の部分を抜粋して説明を行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・個別支援計画をさらに具体化した利用日毎に記録を取る「月次記録」を作成し、それを基に支援を行っています。 ・月末には「月次記録」の振り返りと次月に向けての取り組みを明確にし、評価期間(半年)かけてPDCAサイクルを行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・各クラスの担当スタッフが、年間計画・月間計画を立て、実施しております。

提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	<ul style="list-style-type: none"><li>・各クラスで毎月会議を行い活動内容を検討しています。</li><li>・毎年お子様の成長や特性に合わせた活動内容を検討し実践しています。また、PDCAサイクルで振り返り・改善・立案を行っています。</li></ul>
----	----	-------------------------	---	--

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	・職員配置表を基に、その日の出勤者の役割分担の伝達を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	・終礼を行い、その日の支援の振り返りやヒヤリハットの有無を確認しております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	・半年毎のモニタリングの他に、毎月「月次記録」を行い、振り返りと次月の支援方針を明確にしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	・月次記録の振り返りから、必要に応じて支援項目の変更を行っています。また、大きく心身の状況の変化があった際には、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	・サービス担当者会議には、児童発達管理責任者及び、担当スタッフが参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	・主治医や並行通園先の担当者、相談支援専門員などと定期的な会議を設け情報共有を行い、支援の方針等を共有しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	・医療的ケア児への受入れに関しては、定期的に主治医からの指示書や意見書をいただきながら、看護師が中心となってケアを行っています。 ・定期的な支援会議に参加し、関係機関との連携を行っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	就学に向けての移行会議への参加、また「子育てファイルふくいっ子」事業所独自のアセスメントシート「引き継ぎの為のサマリーシート」の作成を保護者や園と共同で行い、情報共有や情報提供を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	単独通園をされていた利用者様に関しては、移行後に進学した支援学校等へ出向き、情報共有、相互理解を深め、継続した支援を実施できるよう努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	・他の児童発達支援センターへの訪問、または見学の受け入れを行っています。 ・福井県難聴児支援体制派遣事業を通して、ろう学校への見学や部署内研修等も実施しております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	・コロナ禍の為今年度も定期的には実施出来ていませんが、フレンズあすわ単独利用の利用者様を対象に、同法人内のあすわ東こども園へ行き、園児との交流の機会は確保しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	福井市障がい児支援事業所連絡会事務局として市内の各種事業所と、定期的に連絡会を行っています。連絡会で出された意見等について、自立支援協議会等に意見提出を行っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	・連絡帳でのやり取りや、送迎時の時間を活用し情報共有を行っています。 ・ご家族のニーズに合わせ、電話やメール等でのやり取りも行ってあります。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	・ご家族向けサロン「しゃべりば」を月1回開催しております。毎月テーマに沿った勉強会の他にもペアレントメンターとの意見交換会も行ってあります。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	・利用開始時には契約時に運営規定の説明や料金等について書面を介して説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	・個別支援計画更新時には、面談の時間を設けモニタリング報告と個別支援計画の説明・同意を得ています。 ・ご家族の方のニーズに合わせ、電話や書面での報告も行ってあります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	・連絡帳でのやり取りを基本とし、その中で必要であれば電話やメールで個別に相談に乗っています。 ・子育ての悩みによっては、個別療育の実施や、個別の面談を行っています。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	定期的な保護者向けサロンの開催、嘱託医による保護者向け講演会を開催し、保護者同士が顔を合わせる機会を提供しています。 機能強化事業と連携し、保護者向けサロンに代わるファミリーワークショップ（WEB）を開催しています。児童～就学期においてのご家族の悩みや不安の声を基に毎回テーマを決め、様々な専門職の方から、気軽にアドバイスを受ける機会となっています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	・ご相談や助言の機会は基本的に連絡帳でのやり取りとさせていただいていますが、内容によっては必要に応じて電話やメールの活用や個別相談も行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	・足羽福祉会ホームページ内にある事業所別の中で、ブログという形で活動紹介や支援取組等の紹介をしています。また、本ガイドラインの結果公表も行っております。 ・毎月の「フレンズ通信」、インスタグラムを通じて活動内容やお子様の事業所内での様子を発信しています。 ・連絡エクステンジを活用し毎週の献立表の発信や連絡事項等の発信を行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	契約時、必要に応じて保護者にメディア露出に関する同意書をいただいています。同意を得ていたとしても、その都度、保護者に同意を得るようにしています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	・保護者の方に関しては連絡帳の有効活用、また必要に応じた個別面談を行う等の配慮を行っております。 ・外国籍の保護者の方には平仮名やローマ字表記などの配慮を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	今年はコロナ禍で開催できていなかったセンター開放日を設け、「センターフェス」としてイベントを開催しました。契約者の方だけではなく地域の方にも参加を呼びかけ参加していただくことができました。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	・災害時対応訓練及び、不審者対応訓練等について年間計画を作成し、毎月計画的な実施を行っています。 ・メールだけでなく連絡エクステンジも活用し、緊急を要する場合に関しても、素早い情報発信が出来るよう活用しています。 ・利用者様が見通しを持って安心して訓練ができるよう、絵や写真の視覚情報を活用したり、防災頭巾着用の練習も行っています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	・契約時には処方されている服薬内容を把握し、健康面で注意すべき内容を確認しています。また必要に応じ、嘱託医や主治医と連携を取りながら、頓服薬等の管理も行っています。 ・発作時の対応に関しては、主治医からの指示書をいただきながらその都度対応ができるよう対応マニュアルを作成し、共有しています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	常時アレルギー対応を行っております。また委託先のお弁当業者とも連携を行いながら、アレルギー対応だけでなく刻み食等の対応も行っております。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	・虐待防止委員会を設置し、3ヶ月に1回のペースで報告や意見交換を行っています。 ・全ての職員に、毎月の目標を設定した振り返りアンケートを実施し、職員会議等で支援に対する意見交換等を行っています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	

